

Grand Tsuru Niseko..... 61



設計
監理

ABD Architecture LLC (ABD 建築合同会社)

施工

瀬尾建設工業株式会社

認定こども園聖ミカエル幼稚園..... 62



設計
監理

株式会社サン設計事務所

施工

株式会社中山組

本輪西ファミリークリニック 63



設計
監理 株式会社サン設計事務所

施工 盛興建設株式会社

中央警察署桑園交番 64



設計 北海道警察本部総務部施設課
株式会社北海道建築総合研究所

監理 北海道警察本部総務部施設課

施工 株式会社ナルミ

札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろ 65



設計
監理 株式会社アトリエアク

施工 伊藤組土建株式会社

Grand Tsuru Niseko

発注者 ニセコ・ウッドランズ・リミテッド
代表者 Lee Bingle & Stephen Tong
設計監理 ABD Architecture LLC (ABD 建築合同会社)
施工 瀬尾建設工業株式会社



《設計概要》

面積 延べ 233.94 m² × 3 棟
構造 W 造・地上 2 階・地下 0 階
外観仕上 ガルバリウム鋼板、木羽目板、木ルーバー
工期 令和 6 年 5 月～令和 6 年 11 月
建設地 ニセコ町字曾我、487-45、487-46、487-47

《設計主旨》 Grand Tsuru Niseko (グラン・ツル・ニセコ)

北海道を代表するスキーリゾート、ニセコを中心に位置する Grand Tsuru Niseko (グラン・ツル・ニセコ) は国際スキー場から車で 2 分という好立地にあり、静かな林道に沿って自然の景観と調和するように設計されています。敷地は、白樺やナラなどの原生林に囲まれた広大な 3 区画からなり、給水設備を収めた控えめな第 4 区画を備えています。

その名が示す“鶴”は、屋根の勾配に映し出された象徴的な

形に込められています。建物は、伝統的な日本建築の木造架構を思わせる軽やかさを漂わせ、深く伸びる軒や縦方向の金属サイディング、自然木のルーバーが外観を際立たせています。敷地が傾斜地であることを活かし、スキップフロアを採用することで空間の流れをより一層引き立て、高い天井を実現し、屋根構造と相まって建物全体が森と一体となり、和風のアプローチから内部に至るまで、視覚的に美しい体験を創出します。

このプロジェクトは 3 棟のゆとりあるヴィラから構成され、2 棟を対に、もう 1 棟を対照的に配置することで調和を図っています。各棟は 3 つの和風の寝室を持ち、主寝室には広々としたバスルームとタイル張りの和式浴槽を設けました。ロフト窓から自然光が降り注ぐ階段は、建物の四隅をつなぐ象徴的な空間となっています。

設計担当：ジラルール・フランク

認定こども園聖ミカエル幼稚園

発注者 学校法人聖公会北海道学園
設計監理 株式会社サン設計事務所
施工 株式会社中山組



レンガや木をデザインに取り入れた外観



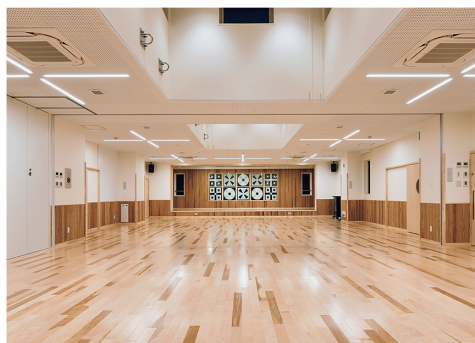
礼拝堂と幼稚園



広々とした玄関ホール



園児の成長を育む図書コーナーのある一時保育室



礼拝堂の和紙入りガラスデザインを取り入れた2階遊戯室

《設計概要》

面積 延べ1,299.11㎡
構造 RC造・地上2階
外観仕上 乾式外断熱通気工法(XPS断熱材〈後貼〉+窯業系サイディング)
湿式外断熱工法(炭酸カルシウム系発泡断熱材〈後貼〉+レンガ調タイル仕上)
工期 令和3年7月～令和4年4月
建設地 札幌市東区北19条東3丁目4番3号
設備業者 (電気設備) 株式会社加賀電気商会
(機械設備) 新弘設備工業株式会社

《設計主旨》

本建物は、幼稚園型から幼保連携型への認定こども園の移行にともない、既存園舎の東側隣地に計画しました。既存園舎は、札幌市東区の閑静な住宅地にあり、札幌聖ミカエル教会(以下礼拝堂)と渡り廊下で繋がっています。礼拝堂は、アントニン・レーモンド氏の設計による建物で『札幌景観資産』に指定されている歴史ある美しい建物です。新園舎の外観は、礼拝堂の特徴であるレンガ・木などの素材を取り入れたデザインとし、建物入口廻りの窓には、礼拝堂と同様に幾何学模様の和紙を貼り、礼拝堂との調和を図りました。建物内部は、壁材に木を使用し温かみのある内装としました。
設計担当：橋本尚幸・高橋洋子

本輪西ファミリークリニック

発注者 医療法人北海道家庭医療学センター
設計監理 株式会社サン設計事務所
施工 盛興建設株式会社



水平ラインを意識した外観



地域住民向けの医療セミナーが開催可能な待合室



医療・事務スタッフが一同に集えるCOMMONスペース

《設計概要》

面積 延べ 592.93 m²
構造 木造・地上 2 階
外観仕上 窯業系防火サイディング
工期 令和 4 年 10 月～令和 5 年 5 月
建設地 室蘭市港北町 1 丁目 6 番 3 号
設備業者 (電気設備) 鐵和電設株式会社
(機械設備) 株式会社進興工業

《設計主旨》

本建物は、室蘭市内において家庭医療学を基本とする内科・小児科クリニックの移転新築工事として計画しました。周囲の広々とした街並みに調和するよう、建物は 1 階部分に主用途のクリニックを配置し、ボリュームや高さを抑え水平ラインを意識した外観デザインとしました。これにより、周辺環境との一体感と落ち着いた佇まいを演出しました。外観には、クリニックのシンボルカラーである淡いブルーをポイントとして取り入れた外観計画としました。診療部分はすべて 1 階にまとめ、待合室を中心に診察室を配置しました。診察室の裏側には、一列に連なるバックヤード（処置対応）を設けました。患者様はもとより、医療スタッフもオペレーションしやすい動線計画となるよう配慮しました。設計担当：橋本尚幸・佐藤良二

中央警察署桑園交番

発注者 警察共済組合北海道支部長
 設計 北海道警察本部総務部施設課
 株式会社北海道建築総合研究所
 監理 北海道警察本部総務部施設課
 施工 株式会社ナルミ



外観



外観（夜景）



内観



風除室

《設計概要》

面積 延べ 96.74 m²
 構造 S造・地上2階
 外観仕上 ガルバリウム鋼板
 ガラスカーテンウォール
 アルミルーバー
 工期 令和6年7月～令和7年2月
 建設地 札幌市中央区北10条西15丁目
 1-7の内（JR桑園駅前）

《設計趣旨》

駅前に移転された、JR桑園駅前のロータリー内に建つ交番。外観にガラスのカーテンウォールを使用し道産木材をあしらった事務所内が見えることで、地域市民の心理的な安心への寄与と誰にでも入りやすく温かみのある交番とする計画とした。

外観は気品ある桑園の街並みに馴染むように、落ち着いた色合いのアルミのルーバーを木の幹、赤色灯の赤を桑の実の色をイメージした配置。内装は、交番の木質化を考慮し全面に道産木材を使用。

外壁は高断熱材・高断熱のガラスを採用し、断熱性を高めることで北海道警察初となるBELSを取得した。

省エネ化等で持続的な建物を設計するとともに、この先何十年と地域を見守る交番として、市民に社会に貢献できる建物になることを期待する。

設計担当：菊澤直樹・今井滉太

札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろ

発注者 札幌市
設計監理 株式会社アトリエアク
施工 伊藤組土建株式会社



東側立面（前面道路新川通りより）



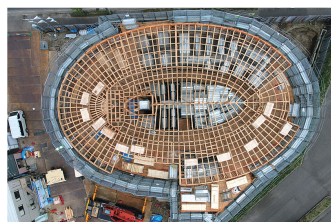
屋内運動場 2階より



2階ホール



メインアプローチ（夜景）



木構造躯体施工時

《設計概要》

面積 延べ1,073.22㎡（車庫含む）
構造 W造・地上2階
外観仕上 ガルバリウム鋼板・道産カラマツ熱処理木材
工期 令和4年10月～令和5年9月
建設地 札幌市中央区北22条西15丁目3-6
設備業者 株式会社高木設計事務所

《設計趣旨》

札幌市動物愛護管理センターは、市民への動物愛護と適正飼育についての関心と理解を深め、「人と動物が幸せに暮らせるまち・さっぽろ」の実現を目指して整備した施設である。従来の「殺処分の場」というイメージを払拭する穏やかな雰囲気かを考慮した建築計画が求められた。不幸にも何らかの都合で飼い主と離れてしまった犬や猫たちの暮らす場所を、明るく快適な環境とすることを大きなテーマとした。
設計担当：柳谷幸・杉本雅史・矢部かおり